

『世界再編アラハバキとその源泉 in 仙台』

【講演へのメッセージ】

前回7月7日(日)から早いもので71日が経とうとしています。いよいよ9月16日(祝)に仙台天命塾講演会「第24章」、『世界再編アラハバキとその源泉 in 仙台』が行われます。

前回では「登戸事件全解説」を行いました。その後の71日間において、NYで大停電が発生し、京都アニメーションでの放火事件が発生し、参院選挙があり、米国ではジェフリー・エプスタインが身柄拘束中に死亡という巨大な事件がありました。エプスタインが死亡した8月10日をもって、地上世界は新たなパラダイムに突入しました。

去年、私は「霊的なポールシフトが起きた！」と述べましたが、一年遅れで、こうしてようやくリアルな現実界に投影されたわけです。

日本と世界、特に日本とアメリカはフラクタルな霊的関係にあり、日本の芸能界闇営業女術問題と、米国のエプスタイン島から派生する巨大な現実、それはまるで生き物のように相互に呼応しながら息をしています。

それらは時にこちらが小さくあちらが大きく、時にこちらが大きくあちらが小さかったりして繰り返し回転しながら無限とも思える回廊を上昇しています。しかしその行き着く先は意外にも早くそして近い。これまで「荒唐無稽な戯言」として一笑に付されていた“噂”が、まさにリアルガチであったことが証明されつつあります。

人々はそれを知り、そこに至った己の状態を「覚醒」と形容するかもしれませんが、早とちりをしてしまったらそれこそ本物の「覚醒」を味わうことはできなくなってしまいます。

私がここ仙台での講演会で過去23回に亘って述べてきた膨大な内容、そしてストーリーを理解し、我が身のことに人に伝えることができるようになって初めて、これから直面するであろうクライマックスの意味が実感をもってわかります。

私たちは早晩、その華々しくも悲しいフィナーレを目撃することになるでしょう。人による奸計は、どれほど緻密に図ろうと、ヤハウェによる神仕組によってコード・シェアされていたのです。なぜならば、「選ばれたはずのトップ・エリート」たちですら、誰からも選ばれていないヤハウェの手の内に含まれていたのだから。その企みも、その秘密もすべてヤハウェの掌中にあったのです。カリブ海の無人島に隠れても、その思惑、言動のすべてがヤハウェの一局面に過ぎなかったということです。しかし、彼らが求めている究極とは私たちが求めるものとじつは同じなのです。表から行くか、裏から行くか。

——そう、ヤハウェには善も悪も、白も黒も、光も闇も存在しません。ならばこれからの社会は、世の中は、世界は、地球はどうなっていくのか？ 最高の結末と、最悪の結末は“コード・シェア”されるのです。

宇宙究極の働きは、まず目の前の足元に現れます。

——“Redeemer”は確実に存在し、実際に機能し、作用しています。その知られざる機序について、9月16日に詳しく述べたいと思います。

ところで、“Redeemer”の話は非常に危険で、聞いた者の98.75%は勘違いか曲解をしてしまいます。それだけデリケートでセンシティブなものなのです。本来はヤハウェを口に出してはならないと同様に、“Redeemer”についてもやはり口にしてはならないレベルのことなのでしょう。

人類根源に関する情報は、人の心を良い意味でも悪い意味でも動かしてしまいます。創造へも破壊へも振られてしまう危うい綱渡りのようなものです。そのようなシリアスなお話しもできたらと思います。

もちろん、最新時事情報の超次元解析も織り交ぜながら、唯一無二のコンテンツを通常通りハイクオリティにて

お送りします。(京アニについても誰も指摘していないことについて言及する予定です)

9月16日(祝)、世界でこの場だけの特別な時間をぜひ共有してください。これからの人類史の基底にある先鋒のメカニズムを解説いたします。ではみなさま、秋の仙台でお会いしましょう！！

澤野大樹

澤野大樹(さわの・たいじゅ)さんのご紹介 1971年東京生まれ

INTUITION <http://www.intuition.jp/>

日本大学芸術学部映画学科卒業。たま出版、たまメンタルビジネス研究所にて、日本のスピリチュアル界の草分け的存在であった瓜谷侑広氏の下で研鑽を積む。

独立し、1997年より独自の哲学的視点を綴った『情報誌INTUITION』の発行が始まる。以来、19年間経った今でもその執筆は続いている。

この『情報誌INTUITION』の執筆が、私の活動の基礎中の基礎であり、ここから様々な企画などに派生していくことになる。たま出版時代から、成功法則、思考現実化法、サブリミナル、マインドコントロール、玄米菜食、魔術、超能力開発、ヒーリング、占い、瞑想、自己催眠術、パワースポット、秘密結社、陰謀論など、ありとあらゆることを体験し、そのことを踏まえた上で書かれる『情報誌INTUITION』は、客観的で多次元的という非常に稀有な形態を持っている。

執筆している本人に、「これから何を書くのか？」ということに対する明確な意識は存在せず、執筆しながら本人が一番驚き、感動し、喜ぶというこれまた稀有な創作過程となっている。それゆえに、完成された情報誌は、もはや「この世のものではない」と言われている。

通常想定される「情報誌」というものとはまったく違い、筆者は、この情報誌の執筆を、ひとつのストーリーを紡ぎ描く手段であると捉えている節がある。いきなり出会っての初見では何が書いてあるのかわからない。しかし、じっくり何度も読んでいくうちに、後になってからジワジワと効いてくるという、不思議な感覚を呼び覚ます珍しい情報誌となっている。

そんな筆者だが、たまに勉強会や講演会なども行っている。講演は、すべての文言が一字一句逃さずに、講演直前に活字化され、講演原稿として用意される。講演と同時に100%完璧な活字版も完成しているところが大きな特徴である。これまでの講演会は、すべて100%活字で保存されている。

また、このインターネット全盛期の現代において、『情報誌INTUITION』は、A4用紙による紙媒体による発行だ。なぜならば、現代においても、国家間の取り決めや条約の調印式は必ず紙の書面に万年筆であるように、歴史に残るものを創造する場合は、紙に記す必要があると考えているからだ。紙ならば1000年経っても残るからだ。『情報誌INTUITION』をぜひご購入ください。

著書「瀬織津姫システムと知的存在MANAKAが近現代史と多次元世界のタブーを明かす」文芸社

- ・日 時：2019年9月16日(月・祝日) 15時半～19時頃(開場 15時)
- ・会 場：あわの里 天命舎 仙台市青葉区国分町3-9-32 仙台 ATOWAビル 5階 022-399-7674
- ・参加費：5000円(仙台テンメイ会員以外&当日参加 5500円) 参加費は当日支払下さい。
- ・定 員：20名
- ・懇親会：講演終了後、澤野さんを囲んで懇親会を開催します。希望の方は申込下さい。
- ・申込み：参加申込書に記入し、FAX、電話、Emailで申込み下さい。
- ・問合せ：仙台天命塾 大久保 TEL/FAX 022-279-1024 090-8786-7300
E-mail atowa999@gmail.com 仙台天命塾 HP <http://genkiup.net/>

仙台天命塾 第341回オープンセミナー 参加申込書
FAX 022-279-1024

講師 澤野 大樹さん
2019年9月16日(月・祝日)

氏名		会員	TEL		
E-mail			FAX		
住所	〒			懇親会参加	